

## 2-1-2 犯罪に対する不安

内閣府による治安に関する意識調査(2006年)では、ここ10年間の治安の変化について、「悪くなったと思う」(「どちらかといえば悪くなったと思う」を含む)と回答した人は、8割を超える結果となっており、更なる治安向上に向けた取組みが課題である。

治安が悪くなった要素としては、「来日外国人による犯罪が増えたから」が最も多く、半数以上が回答しているほか、「地域社会の連帯意識が希薄となったから」や「青少年の教育が不十分だから」とする回答が、約50%程度の回答率となっている。

安全安心なまちづくりを検討する上では、これらの要素に配慮した検討が重要である。

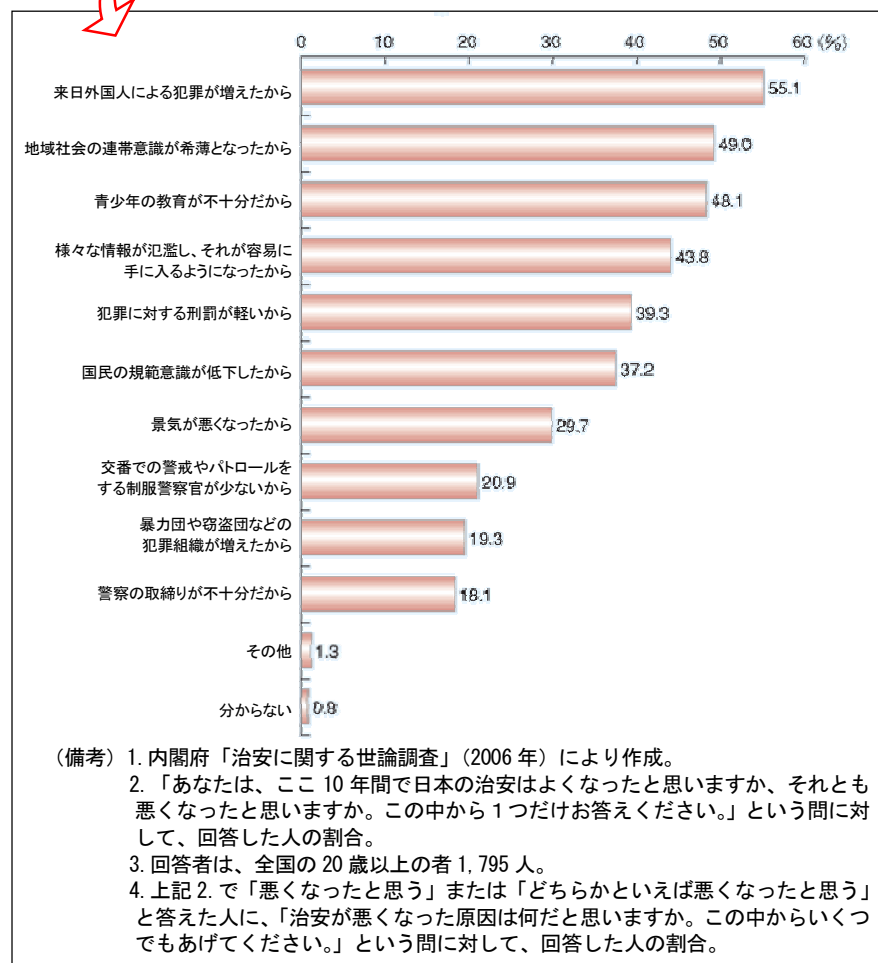
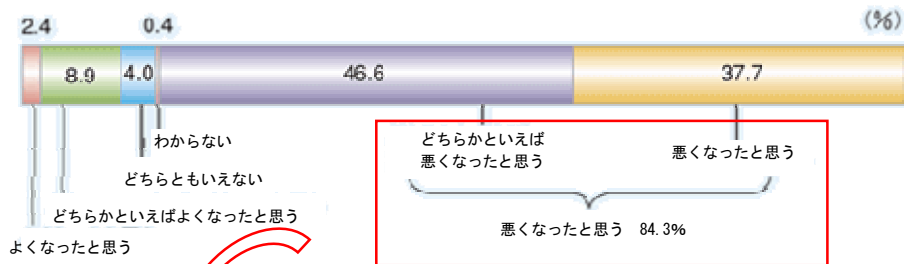


図 2-2 治安が悪くなった要素  
(内閣府による治安に関する意識調査(2006)より)